

# 都市再生整備計画（青谷地区）事後評価 概要版

## ① 都市再生整備計画事業とは？

都市再生整備計画事業は、地域の歴史・文化・自然環境等の特性を活かした個性あふれるまちづくりを実施し、都市の再生を効率的に推進することにより、地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図るものです。

事業の最終年度には事後評価を行います。

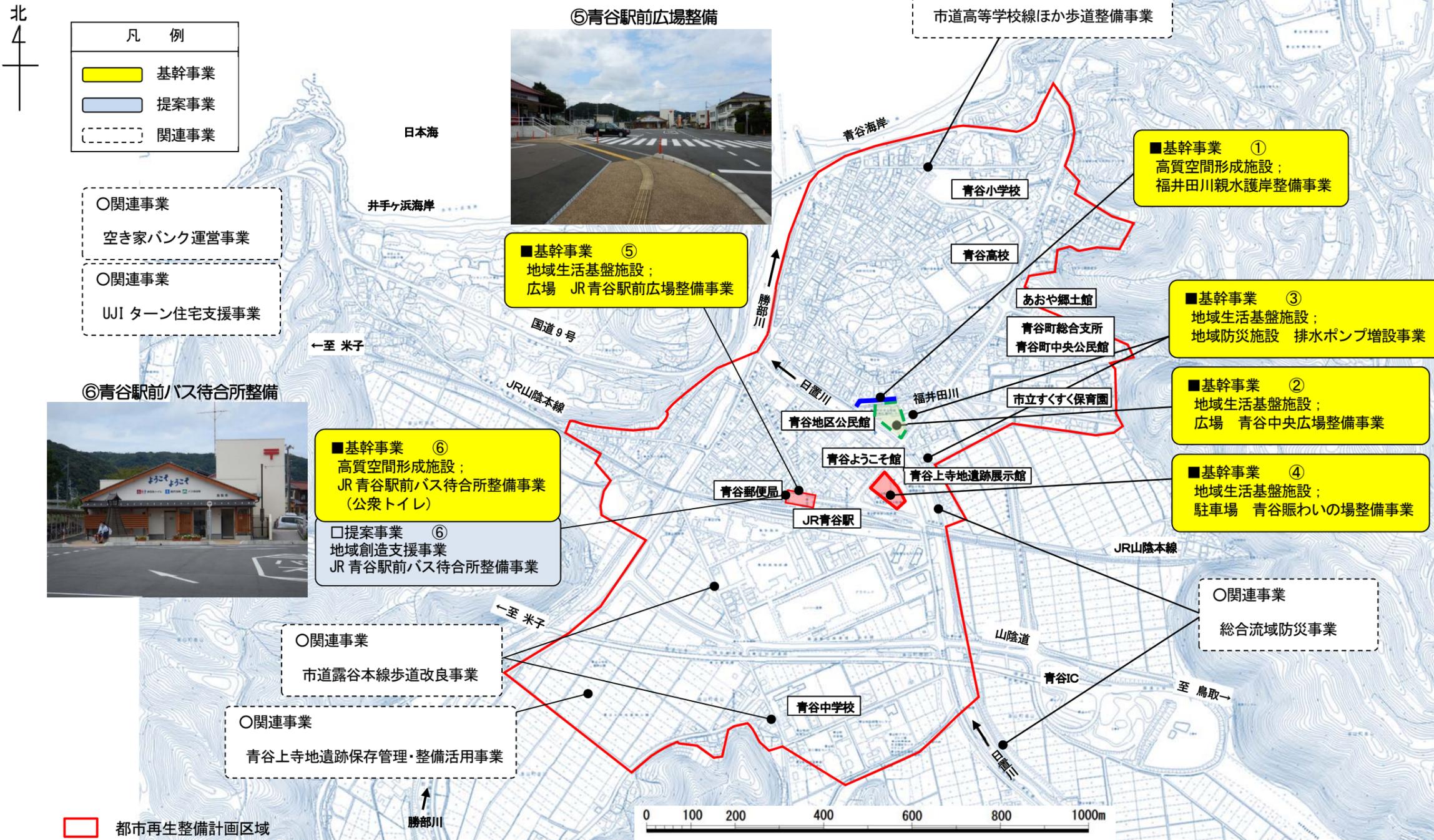


## ② 事後評価の目的・内容

**評価の目的** 事後評価は、都市再生整備計画で設定した目標の達成状況とその効果要因等を整理して、今後のまちづくりに活かすための作業であり、事業の成果を住民のみなさんに分かりやすく説明することを目的とします。

**評価の内容** ①まちづくりの目標の達成状況等の確認  
②課題の変化の整理  
③今後のまちづくり方策の検討

### 整備区域図



都市再生整備計画区域  
※写真は整備済み事業のみ掲載

# 都市再生整備計画（青谷地区）事後評価 概要版

## ③ 計画段階に設定したまちづくりの課題と目標

地区の課題	①住民相互の交流を促すことができる空間の創出 ②歴史的資源や自然的資源の活用 ③2つの河川の合流部の浸水対策 ④通学路をはじめ歩行者の安全確保
地区の目標	大目標：誰もが住みつけたいまち・住んでみたいまち 目標1：誰もが憩うことができる空間を創出することで、地域コミュニティを活性化する。 目標2：地域資源の有効活用により、魅力あるまちづくりを推進する。 目標3：防災機能の強化や人に優しい道路空間の確保により、安全で安心して暮らせる居住空間の形成を図る。

## ④ 事後評価－1 まちづくりの目標達成状況等の確認

目標を定量的に評価するための指標	従前値	目標値	事後評価	達成状況	効果発現要因
指標1 憩いの場に対する満足度	3%	18%	3%	×	アンケートの設問内容から、特定の憩いの場の整備がイメージできておらず、満足度に大きな変化は見られなかったことから、評価値は従前値と同率となり、目標値を達成することが出来なかったものの、「不足」「やや不足」と答えた割合が減り、「普通」と答えた割合が増えていることから、本事業の一定の効果が得られたと考えている。
指標2 地域資源の活用に対する満足度	6%	8%	10%	○	福井田川親水護岸や青谷中央広場等が整備されたこと、青谷上寺地遺跡保存管理・整備活用事業が進行中であることから、満足度の向上につながった。
指標3 地区内の居住人口	2,357人	2,271人	2,066人	×	居住環境改善に関する都市基盤整備は進められてきたが、全国的な人口減少や少子化の影響から、人口減少率を抑えることは出来なかった。なお、青谷地区の減少率は、青谷町全体に比べてわずかに緩やかな傾向にある。

当初は設定していなかった指標による効果発現状況

目標を定量的に評価するための指標	従前値	目標値	事後評価	達成状況	効果発現要因
その他の指標1 憩いの場に対する満足度2	3%	18%	46%	○	アンケートの設問内容に特定の憩いの場の整備をイメージ写真で伝えることで、高い満足度を得ている。

## ⑤ 事後評価－2 まちづくりの課題の変化

事業前の課題	達成されたこと	残された未解決の課題
交流促進空間の創出	中央広場、賑わいの場、駅前広場、バス待合所、親水護岸等の整備により、各種イベント等が開催されるなど、住民相互の交流を促すことができる空間を創出することができた。	—
歴史的・自然的資源の活用	青谷中央広場や福井田川親水護岸整備等により、自然的資源を活用したまちづくりが進められている。	青谷上寺地遺跡保存管理・整備活用事業が進められていることが、交流人口の拡大に期待されている。
大雨時の浸水被害対策	排水ポンプの増設により、浸水被害を以前より抑えることが可能となった。	事業中の総合流域防災事業（堤防嵩上げ等）について、早期完了が望まれる。
通学路の歩行者の安全確保	関係者による通学路点検で危険箇所の確認が行われた。	沿道住民の合意が得られず事業が停滞しており、通学路の歩行者の安全確保が必要であることから、沿道住民との合意形成が急がれる。

## ⑥ 事後評価－3 今後のまちづくり方策

効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
持続的なまちづくり体制の構築	住民の主体性向上の気運が高まる中、地区の課題解決に向けた地元主体のまちづくり体制の支援を行う。	まちづくり体制の支援 住民ニーズに合わせた施設利用方法の検討
施設等の適正な維持管理	整備された施設等を当初の目的に沿って、快適に利用できる環境を維持することが必要である。	地元との協働による維持管理体制の構築
改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
総合流域防災事業の早期完成	堤防の嵩上げ等により、河道の流下能力を向上させるなど、災害に強い地域を作る。	総合流域防災事業
地域資源を有効活用した魅力あるまちづくり	「青谷上寺地遺跡保存管理計画・整備活用基本計画」に基づいた整備に合わせて、地区住民が誇れるまちの実現を図るため、より多くの住民が主体的に参画し、地域を盛り上げていくことができるよう協働・連携していく。	青谷上寺地遺跡保存管理・整備活用事業 まちづくり体制の支援
道路等の権利者との合意形成	権利者等との協議・合意形成に向けた交渉を継続していく。	市道露谷本線、市道高等学校線の整備 通学路代替ルート、交通規制、物理的デバイス等の検討

## ⑦ 事業概要

事業期間	国費率	面積	根拠法	計画名
平成26年度～平成30年度	40%	125ha	都市再生特別措置法	都市再生整備計画

# 都市再生整備計画（青谷地区）事後評価 概要版

## 主な事業(整備前後の写真)

### ①福井田川親水護岸整備



整備前



整備後

### ④青谷賑わいの場整備



整備前



整備後

### ②青谷中央広場整備



整備前



整備後

### ⑤青谷駅前広場整備



整備前



整備後

### ③排水ポンプ増設



整備前



整備後

### ⑥青谷駅前バス待合所整備



整備前



整備後

# 都市再生整備計画（青谷地区）事後評価 概要版

## 主な事業(整備後の状況など)

### 福井田川親水護岸整備



整備延長：約 100m、整備内容：親水護岸整備



### 青谷中央広場整備



整備面積：約 3,700 m<sup>2</sup>、駐車台数：約 20 台（身障者用 1 台）、駐輪場：10 台  
整備内容：芝生広場、東屋、ベンチ、小規模遊具等



### 排水ポンプ増設



東町排水ポンプ 1 基増設



吐口

樋門



駐車場、花壇



遊具、東屋、園路



水路整備 約 200m



堤防嵩上げ



東屋、築山



芝生整備

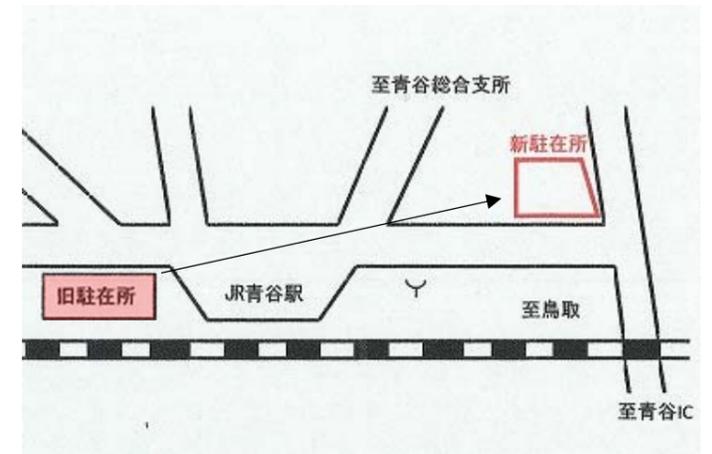
# 都市再生整備計画（青谷地区）事後評価 概要版

青谷賑わいの場整備



整備面積：約 1,700 m<sup>2</sup>、整備内容：駐車場整備、区画線設置

青谷駅前バス待合所整備



整備前の旧青谷駐在所、東方約 300mの位置に移転

青谷駅前広場整備



整備面積：約 1,400 m<sup>2</sup>  
 整備内容：歩道・車道舗装、点字ブロック設置、歩車道境界ブロック設置、スロープ整備、  
 区画線設置(バス待機、乗降場所)、灯ろう基礎設置



整備面積：約 100 m<sup>2</sup> (駐在所跡地活用)  
 整備内容：バス待合所、トイレ (多目的、男、女)、観光案内スペース

